

問1 日本の戦後政治の歩みにおいて、1972年の沖縄返還から1993年の非自民連立政権の誕生までの期間（約21年間）に起こった出来事として、適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった
2. 日ソ共同宣言が調印され、日本の国際連合への加盟が認められた
3. 日中共同声明が調印され、日本と中国の国交が正常化した
4. サンフランシスコ平和条約が調印され、日本の主権が回復した

問2 1980年に夏季オリンピックが開催された都市であり、当時のソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）の首都でもあったモスクワは、1991年のソ連解体後、現在は何の国の首都となっていますか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. ロシア連邦
2. ウクライナ
3. カザフスタン共和国
4. ウズベキスタン共和国

問3 沖縄県にある「平和の礎」には、2022年現在で合計24万人を超える人々の名前が刻まれています。この記念碑の運用実態について、統計的な背景から説明したものととして正しいものはどれですか。（2023年 沖縄公立入試 類似）

1. 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。
2. 建設当初から刻銘される人数は固定されており、新たな名前が追加されることはない。
3. 氏名が判明していない犠牲者が多いため、現在は氏名ではなく出身地別の人数のみを刻んでいる。
4. 連合国側の犠牲者については、平和の礎とは別の施設に分けて名前が刻まれている。

問4 オーストラリアが20世紀後半に「白豪主義」を廃止し、移民政策を大きく転換させた理由とその後の社会の変化についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪公立入試 類似）

1. 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。
2. インカ帝国の滅亡をきっかけに、先住民とヨーロッパ系移民が対等に暮らすための新しい憲法を制定し、国際社会への復帰を果たした。
3. アメリカ合衆国の統治から独立する条件として、人種差別的な法律をすべて廃止し、英語以外の言語を公用語として認めるようになった。
4. イギリスの流刑地としての役割を継続するために、ヨーロッパ以外からの移民を一時的に禁止したが、労働力不足によりその方針を撤回した。

問5 南アフリカ共和国で1991年まで維持された「アパルトヘイト」の具体的な状況や、その後の変化を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 少数の白人が政治や経済を独占し、黒人の居住地や就業、参政権などを厳しく制限したが、廃止後は多様な人々が共に社会活動を行えるようになった。
2. アジア系など特定の有色人種の移民を厳しく制限することで、白人中心の伝統的な社会を維持しようとしたが、国際的な人道支援により緩和された。
3. 特定の宗教や身分制度に基づき、職業の選択や住む場所を法的に固定化していたが、経済発展に伴い人種間の格差が自然に解消された。
4. 国際連合においてあらゆる形態の人種差別を撤廃することを目的に締結された条約であり、これをきっかけにアフリカ大陸全土の植民地が独立した。

問6 1970年代に発生した「石油危機（オイル・ショック）」が、日本の経済成長に与えた影響と、その後の社会の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。
2. エネルギー源が石炭から石油へと転換するエネルギー革命が始まり、重化学工業が飛躍的に発展した。
3. 景気が過熱して地価や株価が異常に値上がりするバブル経済が発生し、消費が大幅に拡大した。
4. 輸出を制限して輸入を促進する政策がとられ、貿易摩擦を解消するために円安誘導が行われた。

問7 湾岸戦争において日本が行った貢献と、その後の日本の国際貢献のあり方に与えた影響について述べた文として適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協力法制定の契機となった。
2. 自衛隊の精鋭部隊を多国籍軍の主力として派遣し、戦闘地域での武装解除を主導した。
3. 日本は一貫して中立の立場を貫き、多国籍軍への支援も経済制裁への参加も一切拒否した。
4. アメリカとの安全保障条約に基づき、日本国内の基地から日本の航空自衛隊が直接爆撃に参加した。

問8 1989年、ドイツでのベルリンの壁崩壊など、東欧諸国で民主化が急速に進展する情勢の中で行われた、アメリカとソ連の首脳による会談の名称として正しいものはどれか。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. ヤルタ会談
2. マルタ会談
3. ポツダム会談
4. サンフランシスコ平和会議

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ベルリンの壁が市民によって壊され、冷戦が終結へ向かった	ベルリンの壁の崩壊は1989年の出来事であり、1972年（沖縄返還）から1993年（55年体制の崩壊）の間の期間に合致しています。日ソ共同宣言は1956年、日中共同声明は1972年（沖縄返還と同年に発表されたが、返還よりも前の出来事）、サンフランシスコ平和条約は1951年の出来事であるため、この期間の出来事としてはベルリンの壁崩壊が正解となります。
問2	答え 1 ロシア連邦	ソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）は1991年に解体されましたが、その中で最大の面積と影響力を持っていたロシア連邦が、ソ連の主要な国際的地位を継承しました。そのため、ソ連時代の首都であったモスクワは、そのまま現在のロシア連邦の首都となっています。
問3	答え 1 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。	2022年時点の統計によれば、刻銘者の内訳は沖縄県出身者が約15万人で最も大きな割合を占めますが、日本国内の他県出身者、さらにはアメリカ、イギリス、韓国、北朝鮮、台湾といった海外出身者の名前も数万人規模で含まれています。また、調査によって新たに身元が判明した犠牲者の名前は現在も追加で刻み続けられており、刻銘者数は年々増加しています。
問4	答え 1 経済発展のためにアジア諸国との結びつきを強める必要が生じ、人種による移民制限を撤廃して多様な人々を受け入れるようになった。	1970年代にかけてオーストラリアが白豪主義を廃止した背景には、従来のイギリスなどのヨーロッパ諸国を重視する姿勢から、地理的に近いアジア太平洋地域の一員として経済的・政治的な関係を深める方針へと転換したことがあります。この変化により、アジアなど様々な地域からの移民が増加し、現在の多文化社会が形成されました。選択肢にあるインカ帝国やアメリカによる統治、流刑地維持のための移民禁止などは歴史的事実と異なります。
問5	答え 1 少数の白人が政治や経済を独占し、黒人の居住地や就業、参政権などを厳しく制限したが、廃止後は多様な人々が共に社会活動を行えるようになった。	アパルトヘイトのもとでは、土地の所有や利用できる公共機関が人種によって法的に分けられていました。1991年の政策廃止以降は、それまで隔離されていたスポーツ観戦や学校などの場でも、人種を問わず多様な人々が共に過ごす風景が見られるようになりました。
問6	答え 1 物価が急激に上昇して経済が混乱し、それまでの高度経済成長が止まって安定成長の時期へと移行した。	1973年の石油危機により、原油価格の高騰から狂乱物価と呼ばれる激しいインフレが起こりました。これにより、1950年代半ばから続いていた実質経済成長率10%前後の「高度経済成長」が終わり、1974年には戦後初のマイナス成長を記録しました。その後、日本は省資源・省エネルギー化を進め、緩やかな「安定成長」の時代へと入ることになります。
問7	答え 1 巨額の資金援助を行ったが、人的貢献がなかったことで批判を受け、後のPKO協力法制定の契機となった。	日本は湾岸戦争に際して130億ドルにのぼる多額の資金を提供しましたが、憲法上の制約などから人員の派遣を行わなかったため、国際社会から「金だけ出す姿勢」として厳しい批判を受けました。この反省から、国際的な平和維持活動に人的に貢献するための議論が高まり、1992年の「国際平和協力法（PKO協力法）」の制定へとつながりました。
問8	答え 2 マルタ会談	1989年に地中海のマルタ島で行われたこの会談は、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長によって開催されました。第二次世界大戦後の1945年にドイツの戦後処理などを話し合ったヤルタ会談やポツダム会談とは開催時期も内容も異なります。1989年は東欧革命の真っ只中であり、ドイツを分断していたベルリンの壁が崩壊した歴史的な年でもあります。